



中野市成人式

5月4日、市民会館において、中野市成人式を開催しました。当日は、晴れの衣装に身を包んだ397人の新成人が参加しました。式に先立ち、新成人の中学生時代の映像が上映されると、懐かしい思い出に会場からは大きな歓声が上がりました。第1部式典では、来賓による祝辞と新成人代表の4人によるあいさつ、第2部では実行委員の皆さんが企画したアトラクションが行われました。心配された天候も快晴に恵まれ、新成人の皆さんは、旧友との久しぶりの再会を喜び、思い出話に花を咲かせていました。



消費生活講演会

5月21日、中央公民館において、コープながの主催、市後援による消費生活講演会「くらしかふえ」が開催されました。当日は、「多くの人がだまされている! その手口から学ぶくらしの護身術」と題し、振り込め詐欺や悪質商法などについて、消費生活コンサルタントの北村きぬ子さんに講演いただきました。次々と登場する新しい手口を知っておくことが、一番の対策になるという話に、参加された皆さんは真剣に耳を傾けていました。



緑化苗木頒布会

市民の緑化活動の推進と、緑豊かな住みよい郷土に誇りを持ち、森林愛護思想の普及啓発を図るため、5月11日、一本木公園と浜津ヶ池公園駐車場において緑化苗木頒布会が行われました。

当日は、朝早くから大勢の方が訪れ、アメリカハナミズキやブルーベリーなど16種類、約600本の苗木が無償頒布されました。また、会場では頒布会に併せて「緑の募金」が行われました。

(写真：一本木公園)



①修復前「第十一代山田荘左衛門顕善像Ⅱ」
 ②修復後「第十一代山田荘左衛門顕善像Ⅱ」
 ③記者発表の様子
 ④「東行雑誌」(東江部村山田庄左衛門家文書16-7)

高橋由一作「第十一代山田荘左衛門顕善像Ⅱ」

平成 25 年に市内で発見・寄贈された高橋由一作「第十一代山田荘左衛門顕善像Ⅱ」の修復作業が完了し、5月19日、(仮称)山田家資料館において記者発表を行いました。

日本最初の洋画家と言われる高橋由一が描いたこの肖像画は、顕善の日記から明治16年に顕善が上京した際に高橋由一に依頼して描いてもらったことが分かっています。日本の近代化という大きな歴史の流れに、東京とは遠く離れた北信濃という地域が、決して無関係ではなかったことを示す歴史資料と言えます。



カチューシャふるさとマラソン大会

中野市体育協会主催の第25回カチューシャふるさとマラソン大会が5月18日、中野小学校を発着点に開催されました。当日は、天候にも恵まれ、市内外から参加した約1,000人のランナーが、ふるさと太鼓の演奏の中、勢いよくスタートを切っていました。また、招待選手として荻原健司(北野建設株式会社スキー部ゼネラルマネージャー)さんや、姉妹都市の北茨城市から市民ランナー5人が参加して大会を盛り上げました。



水防訓練

5月25日、梅雨の出水期を前に千曲川左岸河川敷を会場に水防訓練を行いました。当日は、水防技術の向上と水防体制の強化を目的に、消防団員や水防員ら約300人が参加しました。

今回の訓練では、大雨により河川の水位が上昇し、氾濫の危険性が増しているとの想定の下、堤防を保護するシート張り工法や、水があふれた際の対策として、土のうとブルーシートを使用する改良積み土のう工法などの訓練を行いました。